

● テーマ別会議 ●

環境・循環型ライフスタイルづくり見学会

と き 平成22年12月2日（木）

ところ 県立コウノトリ郷公園、戸島湿地

参加人数 52名

開催趣旨

“環境適合型社会”の実現を目指し「生物多様性の保全」を考える。

テーマ

コウノトリを育成するための環境づくり・放鳥の歴史、コウノトリ育む農法などを学ぶ

内容**県立コウノトリの郷公園**

- ・バス車中において、専門員（県環境創造型農業専門員）の説明でコウノトリの飼育・放鳥にいたるまでの地元の人たちの理解、協力の歴史を、ビデオ映像なども含め学んだ。
- ・コウノトリの郷公園研究棟・園内を見学しながらガイド説明を受けた。
コウノトリの餌場としての景観および自然の構築に関する苦労話を聞いた。
- ・豊岡市立コウノトリ文化館にて、シアターでの鑑賞およびガイド説明を受けた。
- ・バス車中にて、農家の方より「環境創造型農業の推進」と「コウノトリ育む農法」について説明を聞いた。

**豊岡市立ハチゴロウの戸島湿地**

- ・兵庫県と豊岡市が共同で進めた、城崎町戸島の「ハチゴロウの戸島湿地」を見学した。
- ・この施設は、「ジル田」と呼ばれた湿田を、コウノトリの生息拠点として、地域の生物多様性の核として、あるいは環境教育の拠点として整備し、公の施設の「湿地」として管理しているというものである。
- ・湿地内の人口巣塔では、コウノトリのペアが営巣し、抱卵中でふ化が期待されている。

**見学会をふりかえって**

今回の見学会を通じて、コウノトリが野生で生きていくには、えさとなるドジョウやカエル等が生息できる田んぼや河川、巣となる高い木が茂る山林といった自然環境が必要だということ学びました。

「コウノトリも生活できる」このような自然環境は、私たちにとっても住みよい環境です。

コウノトリが大空を悠々と舞うことができるなど、人と自然が共生できる豊かな地域社会が実現する日が来ることを願い、また、それに向け、私たち一人ひとりがよりいっそう行動することが大切だということ改めて感じながら、見学会を終えることができました。